

## 6. メディアコミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科 履修モデル

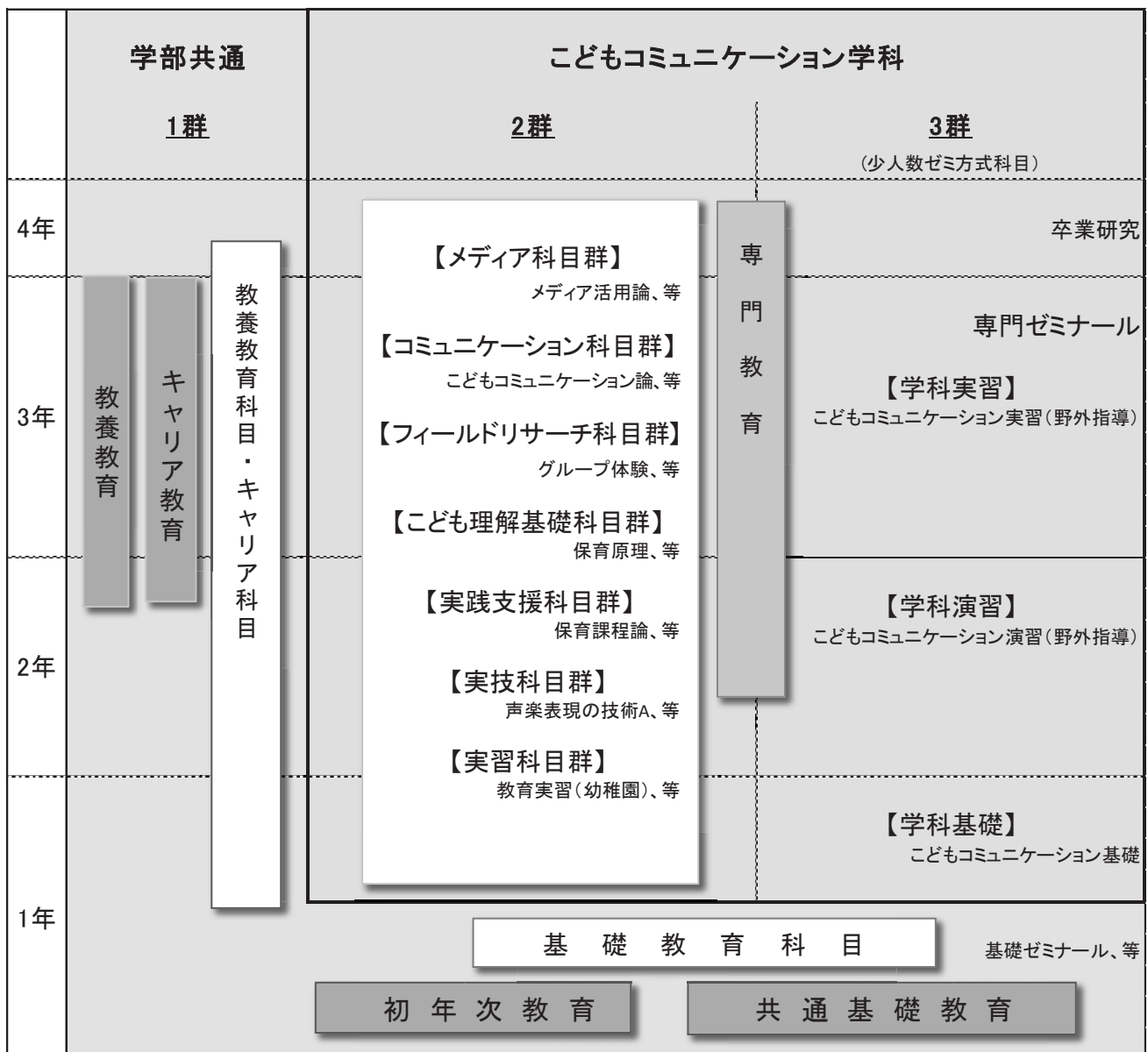
子どもコミュニケーション学科では、特別なコース分けをしていません。なぜなら、原則として学科の全学生が幼稚園教諭免許状及び保育士資格の取得を前提としているからです。

本学科が目指す理想的な保育者像は以下のとおりです。

- ①豊かな人間性を基礎に、教育に使命感や情熱を持ち、探求力を持ち学び続ける保育者
- ②専門分野に関する高度な知識・技能を持ち、こどもの最善の利益を考慮し実践できる保育者
- ③自らのコミュニケーション能力や対人関係能力を一層高いものとし、同僚・保護者・学校や保育支援に関わる関係者との協力関係を構築できる保育者

カリキュラムは、皆さんがこの理想像に一步でも近づくように編成されています。

### 子どもコミュニケーション学科 カリキュラム構成図



学年ごとの履修モデル (免許状及び資格の取得には他の科目の履修も必要です)

特色	科目群	必 選	1年次		2年次	
			科目名	単 位	科目名	単 位
豊かな 人間性・ 使命感	1群・3群	必 修	地域ボランティアプログラムA	2	こどもコミュニケーション演習 (野外指導)	2
	フィールド リサーチ				グループ体験	2
コミュニ ケーショ ン能力	コミュニケ ーション		こどもコミュニケーション論	2	コミュニケーションの心理学	2
			English LR Reading I	2	グループアプローチ	2
					こどもと読み聞かせ・児童文学	2
メディア 活用を 含んだ 専門的 知識・ 技能	メディア		メディア活用論 I	2		
	教育・保育 専門知識		保育原理	2	児童家庭福祉	2
			教育学概論 (初等)	2	保育課程論	2
			教育制度論 (初等)	2	保育内容総論	2
			社会福祉	2	教育方法学 (初等)	2
		保育者論	2			
		保育の心理学	2			
		幼児理解	2			
		こどもコミュニケーション基礎	2			
	教育・保育 専門技能	選 択	社会的養護	2	相談援助	2
					こどもの保健A	4
					健康	2
					人間関係	2
					環境	2
					言葉	2
					表現 (音楽)	2
					表現 (制作)	2
			生活	2		
			体育	2		
		声楽表現の技術A	2	身体表現の技術	2	
		器楽表現の技術A	2	言語表現の技術	2	
		造形表現の技術A	2			
		絵画表現の技術A	2			
教養教 育	基幹科目群	必 修	基礎ゼミナール	2		
			情報リテラシー	2		
			日本国憲法	2		
			健康・スポーツ科学	2		
		選 択	ことばと表現 (書きことば)	2		
			ことばと表現 (話しことば)	2		
		Reading & Speaking I	2			

特色	科目群	必 選	3年次		4年次	
			科目名	単 位	科目名	単 位
豊かな 人間性・ 使命感	3群	必 修	こどもコミュニケーション 実習（野外指導）	2		
			こども情報測定評価論	2		
メディア 活用を 含んだ 専門的 知識・ 技能	メディア	必 修	専門ゼミナール	4	卒業研究	4
	3群					
	実習	選 択	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅲ	2
			保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅲ	2
					教育実習（幼稚園）	4
					教育実習事前・事後指導 （幼稚園）	2
	教育・保育 専門知識	必 修	保育相談支援	2		
			選 択	こどもの保健B	2	教育・保育実践演習
		こどもの食と栄養		2		
		家庭支援論		2		
乳児保育		2				
障害児保育		2				
社会的養護内容	2					

#### 履修上の注意

- ①「Reading & SpeakingⅠ」「Reading & SpeakingⅡ」「Listening & WritingⅠ」「Listening & WritingⅡ」の4科目から1科目以上履修すること。
- ②「国語」「算数」「生活」「体育」「乳児保育」「障害児保育」「社会的養護内容」の7科目から4科目以上を履修すること。
- ③「身体表現の技術」「音楽表現の技術A」「音楽表現の技術B」「器楽表現の技術A」「器楽表現の技術B」「造形表現の技術A」「造形表現の技術B」「絵画表現の技術A」「絵画表現の技術B」「言語表現の技術」「総合表現演習Ⅰ（演劇）」「総合表現演習Ⅱ（オペレッタ）」のうち必修科目（下線がある科目）の4科目を含め8科目以上履修すること。
- ④「メディア活用論Ⅱ」「こども教材開発論」「こども教材開発演習」「生涯学習論」の4科目から3科目以上履修すること。
- ⑤「こどもと読み聞かせ・絵本」「こどもと読み聞かせ・メディア」「こどもと文学」「こども文学創作演習」の4科目から1科目以上履修すること。
- ⑥「保育実習Ⅱ」及び「保育実習指導Ⅱ」、または、「保育実習Ⅲ」及び「保育実習指導Ⅲ」のいずれか2科目以上を履修すること。
- ⑦2014年以前入学生で本学科における1年間の履修登録は原則最大50単位までとする。  
2015年度以降入学生は前期・後期共に各26単位以下（自由科目の単位と下記の教職科目は除く）年間では49単位以下の履修登録になる。例えば、前期に26単位履修した場合、後期は23単位履修となる。
- ⑧2015年度以降入学生は、各年次に12か月以上在学し、2年終了時に50単位以上（自由科目の単位を除く）修得していることが進級要件となり、休学等で12か月在学できず、50単位以上修得がない場合は留年となり4年間では卒業できない。  
○該当教職科目  
保育者論・教育制度論（初等）・保育の心理学・保育課程論・教育方法学（初等）